

会期 2002年8月9日(金)～9月23日(月・祝)

午前10時～午後6時(木・金曜日は午後8時まで/入場は閉館時間の30分前)

休館日 毎週月曜日(9月23日は開館)

観覧料 ●一般500(400)円●学生400(320)円●中・高生・65歳以上250(200)円

■()内は20名以上の団体および三越カード会員、アトレカード会員割引料金

※写真美術館友の会会員、小学生以下およびお身体に障害をお持ちの方とその介護者は無料

※第3水曜日は65歳以上無料

主催 東京都/東京都写真美術館 協力 天野祐吉/People Photography Project デザイン 仲條正義

会場 東京都写真美術館(恵比寿ガーデンプレイス内) 2階展示室 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

TEL.03-3280-0099 FAX.03-3280-0033 http://www.tokyo-photo-museum.or.jp

トークコンサート 「写真・言葉・音」

谷川俊太郎×天野祐吉×谷川賢作

2002年8月10日(土)午後3時より写真美術館1階ホール

イベント その他、中に入ることができる巨大カメラの展示や関連のワークショップ等があります。

フロアレクチャー 担当学芸員が展示室で解説します。(第2・第4金曜日14:00～)

こどものための写真展 「写真ってなんだろう」

構成…谷川俊太郎

ほんとのりんご

パート1 「ほんとのりんご と シャシンのりんご」

パート2 「わたしって だれ？」

パート3 「さいぼうから うちゅうまで」

パート4 「シャシんは うそをつく」

パート5 「シャシんのむかし・いま」



東京都写真美術館

東京都目黒区三田1-13-3
Tel.03-3280-0099 代表 恵比寿ガーデンプレイス内

と シャシんのりんご

こどものための写真展

わたしたちのまわりには、たくさん写真があります。毎日、わたしたちはその写真を使って、なにかを知ったり、なにかを伝えたりしています。言葉や絵や音楽と同じように、写真もまた、わたしたちが世界をとらえるために編みだした記号のひとつであり、ひろい意味の「ことば」なんですね。が、写真ということばには、いったいどんなはたらきがあるのか。そのはたらきは、文字や絵や音楽のはたらきとはどう違うのか。そういうことを考えはじめると、ちょっとあたまが痛くなってくる人が多いんじゃないでしょうか。で、夏休みを利用して、それをみんなで考えてみよう、それもむずかしいことばはいっさい使わずに、約200枚くらいの写真を見ながら考えてみようよ、ということでこの写真展を企画しました。これを見たら、きっと、写真ということばがもっと身につくようになる。身につくようにならなくても、もっと写真を見る目が豊かになるのはうけあいです。写真好きのお父さんもお母さんもおじいちゃんもおばあちゃんも誘って、楽しく写真を考えるための写真の森に遊びに来てください。

「写真ってなんだろう」

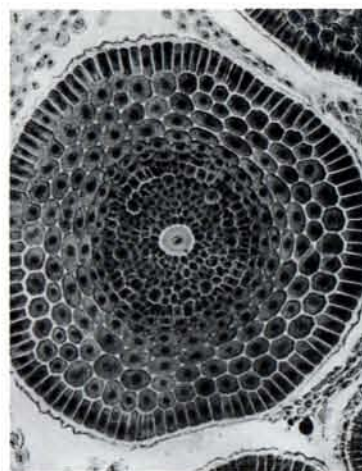
パート1 「ほんとのりんご と シャシんのりんご」

少女 撮影：築地 仁 2002年



りんご 撮影：築地 仁 2002年

パート2 「わたしって だれ？」



「マイクログラフィ・デコラティブ」より ロール・アルバン・ギヨー 1931年 フォトグラヴィア

パート3 「さいぼうから うちゅうまで」



NASA ミッション：アポローサターン17号 1972年 12月7～19日 ダイトランスファー・プリント



「FRONT」3-4号より 1942年刊 東方社

森の少女 ウィン・パロック 1951年 セラチン・シルヴァー・プリント



パート4 「シャシんは うそをつく」

パート5 「シャシんのむかし・いま」



本を読む二人の少女 撮影者不詳 1870年代 アンプロタイプ



秋田・湯沢「風姿花伝」より 植田一政 1976年 セラチン・シルヴァー・プリント



東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内

